



はるなフルーツタイムスの会 星田 康一さん

### 地域づくりをはじめたきっかけ

昔から観光に興味があり、週末はほとんど県外で、観光集客の研究をしていました。そんな中、仕事の関係で吾妻の地域活性化の活動に携わることとなります。町を蕎麦の町にしようと7、8軒のお蕎麦屋さんが集まって、ライバル店が協力をして活動を始めました。そこで、「家」ではなく「地域」として、蕎麦の町だと認識してもらう様に頑張っている姿を見た

き、面白いなと思いました。

高崎市榛名地区は県下有数の果樹産地です。国道406号がフルーツ街道と呼ばれています。街道には直売店が沢山ありますが、冬はシャッターが閉まっています。その冬の間、夏の啓発物を作ることになったのです。面白かったのは、農家は男性が主体ですが、女性に集まって貰ったことです。その中で、多岐に渡りフルーツを作っていますが、様々な理由で来るお客さんが減ってきたなどのお

話を聞くことができました。そこで、地元にも観光情報を発信する団体があってもいいのではないかと思います。会を作る経緯になってくるわけです。

### 活動内容

観光情報の発信、フルーツ忍者ハルナスタンプラリーなどの企画イベントが会のメイン活動となっています。ブログ・フェイスブック・ツイッターで、榛名の観光の基礎「榛名湖」「榛名神社」「果樹」を会では『3つの宝』と呼んでPRをしています。果樹だけではなく



西上州の逸品と旨いもん観光市

## 「地元の『3つの宝』を地域として外に広める」

はるなフルーツタイムスの会 星田 康一さん(高崎市)

地域づくり人物リレーは、県内で地域づくり活動がされている方を取材し、紹介してまいります。第23回目は、星田 康一さんにスポットを当て、お話を伺いました。

